

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イヴォーク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：イヴォーク

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ニュークリアー・フォージ

フレアーの幅 インチ

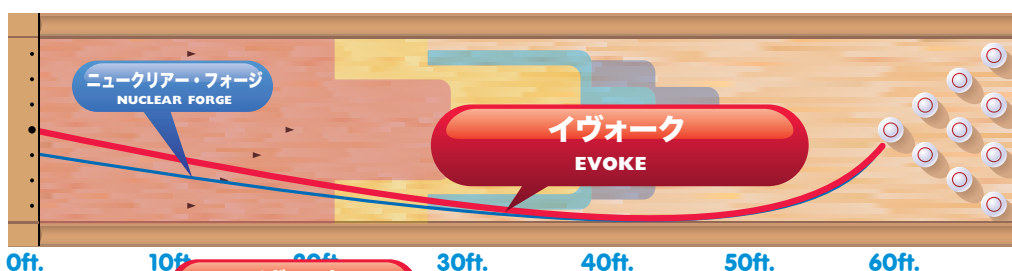
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

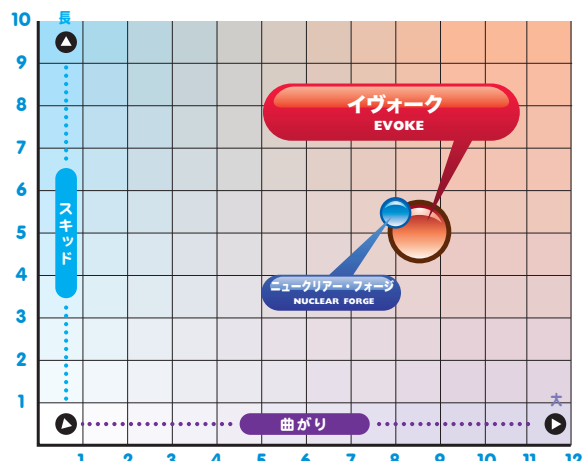
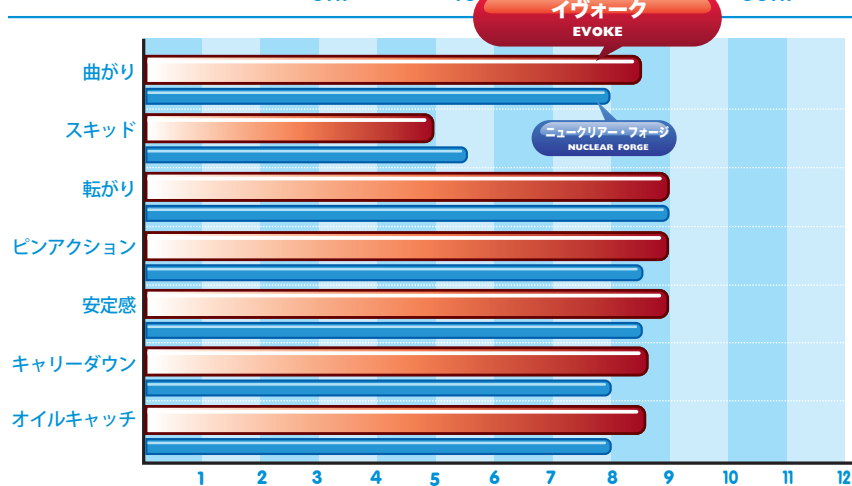
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

鮮やかなカラーリングと画期的なコアデザイン、そして実績のあるカバーストックを融合し、より厚いオイルに対しての安定感とコントロール性を重視して仕上げられました。この画期的なコアデザインは、ディファレンシャルを最大25%変化させることができると同時に、ディファレンシャルを下げるドリルオプションも可能です。今までMOTIVのボールはドリルしたボールのディファレンシャルを下げるができなかったのを見直し、ボウラーにおける回転数の違いの差動を最小限にして汎用性を求めたものと言えるでしょう。また、ジャッカルの強いプレデターV2コアとプライドのコアの間に位置しており、ストライク率を上げるために適切な角度を得るための「スイートスポット」にヒットし易くなるように設計されています。

そしてレバレッジMXCソリッド・リアクティブ・カバーストックの最先端シェルは、ブラック・ベノムで有名なレバレッジカバーストックとフォージ・フレアのアグレッシブなコンポーネントを融合させたもので、MOTIVが今回打ち出したデュラマックス・テクノロジーと組み合わせることで、困難なハイオイル環境でも優れたトラクションを得られます。デュラマックス・テクノロジーは、磨耗やレーンとの衝撃に対しダメージを少なくし、表面の状態を大幅に長く維持することを目的として開発を進められ、このイヴォークに採用されました。イヴォークがラインナップに加わったことで、オイルが多く感じるコンディションで幅広いボウラーに安定した扱いやすい曲がりを提供できると同時に、フランチャイズのコンディションはもちろんのこと、スポーティーなシチュエーションにも十分活躍してくれるボールとなるでしょう。

特記事項

MOTIV 待望の新ブランドで、新開発のコアと実績のあるカバーストックを組み合わせ、幅広いボウラーに動きの差を少なくして使用していただけます。